

受託記念企画展 広正製陶・半谷孝コレクション

世界へ羽ばたいた和製マジョリカタイル

金型の精緻・精巧美の世界

この度、広正製陶創業者・半谷音吉氏の次男であり、工場長であった故・半谷孝氏が長年に渡って守ってきたマジョリカタイルの真鍮金型 63 点が、多治見市モザイクタイルミュージアムに寄託されることとなりました。中でも、インド人商人からの依頼を受けて製作された、ヒन्दウー教の神々をモチーフとするタイルの金型は、これまで確認され得なかった極めて稀少な現存品であり、またそれ自身、精緻な工芸品です。

インドの地に、多くの和製マジョリカタイルが輸出されたこと、そして今も現地の建築物にその姿をとどめ、人々に親しまれていることが、近畿大学准教授豊山亜希氏の調査によって確認されました。いっぽう、大正期のタイルメーカーを訪ね歩いてきた加藤郁美氏の調査により、半谷孝氏がインド向けの輸出用タイルの金型を保存しておられたことが判明し、日本側からも輸出用マジョリカタイルの生産のあり方を辿ることができるようになりました。

本展は、半谷家ご遺族様、加藤郁美氏のご協力を得まして、これらの貴重な金型と、タイル製品を披露する初めての展観です。豊山亜希氏がインドで撮影された現地の写真と合わせ、大正期から世界へと大きくはばたき、輸出先の文化・美意識に応える製品を作り続けてきた、日本タイル産業の姿に迫ります。

会期：2020年9月19日(土)～2021年1月11日(月・祝)(予定)

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)、12月29日～翌年1月3日

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

主催 多治見市モザイクタイルミュージアム

企画協力 加藤郁美(月兎社)

観覧料 一般 310円、団体 250円(常設展観覧料でご覧いただけます)

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い 1名様

無料



広正製陶タイル金型<サラスヴァティー>
会沢則子蔵(モザイクタイルミュージアム寄託)

見どころポイント

1. これが日本製!? インドの神々が描かれたタイルの真鍮金型、本邦初公開!
2. まるで美術工芸品! 輸出先の要望に応える日本タイル産業の底力!
3. 大正時代に輸出された和製マジョリカタイルが今も彩るインドの街並みをご紹介します!
4. タイル製造・タイル販売に賭けた一家の歴史から、日本タイル創製期の歴史をひも解きます。

広報・取材に、
ご協力お願いいたします。

■企画協力

加藤郁美 プロフィール

北海道生まれ。早稲田大学文学部哲学科卒。著書に『につぼんのかわいいタイル:昭和レトロ・モザイク篇』『切手帖とピンセット:1960年代グラフィック切手収集の楽しみ』ほか。

■関連企画(予定)

ギャラリートーク 加藤郁美

講演会

豊山亜希(近畿大学国際学部准教授)

加藤郁美

(開催日検討中)



広正製陶タイル金型<ラクシュミー>
会沢則子蔵(モザイクタイルミュージアム寄託)

※関連企画はお申し込みが必要です。更新情報、詳細はホームページをご参考ください。

※新型コロナウイルス感染症対策等により、予定が変更されることがあります。最新情報は公式ホームページをご確認いただくか、直接お問合せください。

お申込み・お問合せ

多治見市モザイクタイルミュージアム

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

広報担当 村山

